

2020年9月1日
株式会社サティスファクトリー

[2020年8月度実績]

廃プラスチック 103 t を 76 社より回収、前倒しで目標達成 99%本物の再生材ごみ袋「FUROSHIKI」月産 600 万枚超へ (*1)

企業向け廃棄物管理サービスおよび環境コンサルティングサービス等を提供する株式会社サティスファクトリー（本社：東京都中央区、代表取締役会長：小松武司）及びグループ企業（以下「サティスファクトリーグループ」）は、2020年6月に資源循環プロジェクトを始動し、8月には国内大手企業を中心とした76社より廃プラスチック103tを回収しました。これらは、独自の純国産リサイクルスキームによって99%再生材ごみ袋「FUROSHIKI」に生まれ変わります。廃プラスチックを原料としてご提供くださった企業に限らず、全国の事業者を導入いただけるよう、適正かつ誠実な生産体制と品質管理を行ってまいります。

(*1) 45Lごみ袋に換算した場合、605万枚相当

■ プラスチック資源の国内循環プロジェクト

サティスファクトリーグループは、廃棄物マネジメント事業の一環として廃棄物の削減及び適正処理をすべく、事業活動から発生する不要物のリサイクルを支援してまいりました。2020年6月22日に供給を開始した99%再生材ごみ袋「FUROSHIKI」は、輸出できなくなった**廃プラスチックを、排出者である企業に新たな製品として還元**するものです。廃棄物を国内で集め、再生原料を国内で生産し、再度国内で使用します。捨てる事を当たり前にしない新しい日常で、**ごみ袋を使うというごく自然な行為を、新しい企業価値を生む環境貢献活動すなわちサーキュラーエコノミーへ転換**します。

■ 廃プラスチック回収経過

2020年8月31日時点で、廃プラスチックの提供企業は76社にのぼります。国内大手の物流会社、運送会社、食品メーカー、通販会社、卸売市場などからの回収により、月間103t (*2) の再生材への切り替えに成功しました。これは45Lごみ袋に換算すると605万枚にあたり、同規模の生産にワンウェイプラスチックを使用した場合と比較して**CO2排出量を約302t削減**します。

当初の目標は2020年9月までに60社100tの回収でしたが、大幅に前倒しでの達成となります。想定以上に多くのご賛同をいただき、各々に資源循環の対策を模索されていることを実感いたしました。**企業活動のカーボンオフセット**の一助として、廃プラスチックの提供や99%再生材ごみ袋「FUROSHIKI」の導入をご希望の事業者様は是非ご用命ください。

(*2) 2020年8月1日から31日の回収量

	提供企業（達成率）	回収量（達成率）
【実績】 2020年6月度	20社（33%）	34t（34%）
【実績】 2020年7月度	40社（66%）	70t（70%）
【実績】 2020年8月度	76社（126%） 達成	103t（103%） 達成
-【目標】 2020年9月度	60社（100%）-	100t（100%）-

■ 99%再生材ごみ袋「FUROSHIKI」

商品名： FUROSHIKI
 原料樹脂： ポリエチレン（99%再生材使用）
 耐熱温度： -30℃
 使用用途： ごみ袋
 取扱上の注意： 火気厳禁
 商品構成：



容量	サイズ	厚さ	箱入り数	カラー	CO2 排出削減量*
45L	650×800 mm	0.020 mm	500 枚	半透明・青色・黄色	約 30kg/箱
70L	800×900 mm	0.030 mm	300 枚	半透明・青色・黄色	約 36kg/箱
90L	900×1000 mm	0.030 mm	200 枚	半透明・青色・黄色	約 32kg/箱
120L	1000×1200 mm	0.030 mm	200 枚	半透明	約 40kg/箱

*自社調べ

< 関連ニュースリリース >

- プラスチック資源の国内循環を実現する 99%本物の再生材ごみ袋「FUROSHIKI」を事業者向けに供給開始（2020年6月17日）
<https://www.sfinter.com/information/post-1891/>
- 廃プラ 34 t を国内大手企業 20 社より回収、99%本物の再生材ごみ袋「FUROSHIKI」月産 200 万枚体制へ（2020年7月1日）
<https://www.sfinter.com/information/post-1914/>
- 廃プラスチック 70 t を 40 社より回収で累計 100 t 超え、99%本物の再生材ごみ袋「FUROSHIKI」月産 400 万枚超へ（2020年8月3日）
<https://www.sfinter.com/information/post-1988/>

■ 商品名由来

日本で古くから愛される「包む」文化は、「風呂敷」に象徴されます。使い捨てされずに幅広い用途に繰り返し生きるその姿は、消費社会が目指すべき価値そのものです。同様に、廃棄物を包む「FUROSHIKI」は資源を大切に扱う心を表します。

■ 自社ブランドー偽りのない「ETHICAL PRODUCTS」

本商品は、SDGs 関連の取組を支援するサティスファクトリーグループ企画ブランド「ETHICAL PRODUCTS」に属するオリジナル商品です。環境に対して、社会に対して、人に対して、誠実であることを宣言します。

<ラインナップ抜粋>

- 処理に困る廃棄物をワンストップで回収×買取×モニタリング「KIZUNA」
<https://www.sfinter.com/information/post-1938/>
- 企業の不要物を環境教材へアップサイクル、小学校へ無償提供「KIZUNA KIDS」
<https://www.sfinter.com/information/post-1974/>

■ 「日経 SDGs フェス」に登壇予定

この度、日本経済新聞社・日経 BP が主催する「日経 SDGs フェス」の内、下記 2 日程のプログラムにサティスファクトリー社長の恩田が登壇いたします。本イベントは、持続可能な社会の実現に向けて、すべての人々や企業とともに SDGs の実現を議論する場です。是非、ご来場または Web ライブ中継のご視聴にてご参加ください。

➤ ~~2020年8月31日(月)「日経 SDGs/ESG 会議」~~

~~企業が ESG と SDGs を柱に事業モデルを構築すべく、世界が目指す SDGs の達成を日本発で発信することを主題にした国際会議。~~

~~<https://project.nikkeibp.co.jp/event/sdgs200831/>~~

~~→終了しました。ご視聴ありがとうございました。~~

➤ 2020年9月3日(木)「日経 SDGs フォーラム 特別シンポジウム」

海洋プラスチックごみ問題解決に向け、国や企業等の活動を紹介するシンポジウム。

<https://events.nikkei.co.jp/28147/>

■ 株式会社サティスファクトリー

所在地： 東京都中央区八丁堀三丁目 12 番 8 号 HF 八丁堀ビルディング 8F

代表者： 代表取締役会長 小松 武司

設立： 1996 年 11 月

事業内容： 廃棄物管理事業、環境コンサルティング事業、再生可能エネルギー事業

資本金： 1 億円

ウェブサイト： <https://www.sfinter.com/>

■ お問い合わせ先

株式会社サティスファクトリー

営業開発部長 羽山 (はやま)、経営企画部 広報担当 椛田 (かばた)

電話番号 03-5542-5300

メールアドレス consulting@sfinter.com

以上